



…経営・DX コース…

《コーディネーター》鈴木和也（コース主任）、岩下昌美、鶴崎清貴、遠藤真紀、竹石洋介

「データで未来を読み解き、変革をリードする。」

ビジネスを刷新し、新たな価値を創造できる「ビジネス・トランスフォーマー」を目指しませんか。

▷ コースの概要

経営・DX コースは、企業の健全な運営を支える「会計・ガバナンス」の知識と、市場を切り拓く「デジタル・イノベーション」のスキルを融合させた、次世代のビジネスリーダーを養成するコースです。本コースでは、不確実な社会において企業の「攻め（新規事業・マーケティング）」と「守り（財務・組織管理）」の両面を、デジタル技術（ICT）とデータを武器にアップデートする手法を学びます。従来の文系的な経営知識に加え、IT パスポートや DX ビジネス検定などの資格取得も視野に入れ、就職活動で強力な武器となる「実務×デジタル」の専門性を磨きます。

▷ 養成する人材像

デジタル技術と経営・会計の知識を兼ね備え、企業内の DX 推進室や経営企画、あるいはデジタルマーケティングの専門家として、組織の変革をリードできる「DX ビジネススペシャリスト」を養成します。

▷ 履修モデル科目の特徴

① 変革を主導する経営・起業家精神の育成

1 年次に「経営学総論Ⅰ・Ⅱ」「ベンチャービジネス入門」「経営戦略論」を履修することで、組織の全体像と、新しい価値を生み出すための「ベンチャースピリット（挑戦心）」を養います。これは、DX を推進する上で不可欠な「課題設定力」と「変革推進力」の土台となります。

② データドリブン経営を支える会計・財務リテラシー

企業の健康状態を数値で把握する力は、DX の投資判断に必須です。1 年次の「会計学」「簿記Ⅰ・Ⅱ」から始まり、2 年次以降の「財務会計論」「中級簿記」「経営分析」を通じて、データを経営判断に活かす「データドリブン」な思考を修得します。

③ デジタル技術とマーケティングの融合

ネット社会に対応した「マーケティング論」や「消費者行動論」に加え、「SNS 活用と問題解決」「デジタルビジネス論」を受講します。最新の IT トレンドがいかにかに市場を変えるかを理解し、SNS や Web を活用した実践的なマーケティング手法を学びます。

④ 実践的な DX 実装と課題解決演習

2 年次の「経営情報学Ⅰ」で基礎を固めた後、2・3 年次には「経営情報学Ⅱ」「マネージメントゲーム」、そして 3・4 年次には「ビジネスプランニング」に挑戦します。自らビジネスモデルを創造し、事業計画書を作成する一連のプロセスを通じて、学んだ知識を統合し、実社会の課題をデジタルで解決する実戦力を身に付けます。

▷ 資格について

IT パスポート、DX ビジネス検定、G 検定（ジェネラリスト検定）、日商簿記検定（2 級・3 級）、販売士、中小企業診断士、高等学校教諭 1 種免許状（情報）等。